**2024年度**

**第49回全国視覚障害者情報提供施設大会（福岡大会）**

**開催要項**

テーマ　　　共に創る情報バリアフリー　共に支える未来社会

目的　　　　本年４月、合理的配慮の提供を民間事業者にも義務付ける改正障害者差別解消法が施行した。全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現する取り組みは、新たな段階に入ったと言える。また2019年に「読書バリアフリー法」が制定・施行されてから５年目となる。同法により、国に策定が義務付けられている「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する基本的な計画」は第１期の最終年を迎えた。

　これら二つの法律は、視覚障害をもつ人々等の情報入手や読書環境の向上に大きく関わるものであり、全視情協では国をはじめとする行政の動きを注視しているところである。民間の運営による場合が多い視覚障害者情報提供施設（点字図書館）も、合理的配慮の内容を十分に理解し、提供しているサービスやその方法などを、法に照らして再確認せねばならない。

　読書バリアフリー法においては、国は、この間の取り組みについて振り返りをし、次の５年の計画策定をせねばならず、既に動き始めている。読書バリアフリー法の公布を喜び、それを拠り所にしてサービスの充実を図ろうとしている私たち視覚障害者情報提供施設も、今、法施行後の５年間の活動を思い返し、近未来の利用者の実像とサービスを想像し、その実現に向けた行動をするときにある。

　読書バリアフリー法は、その目的において障害の有無にかかわらず全ての国民が等しく読書を通じて文字・活字文化の恵沢を享受することができる社会の実現に寄与すると謳う。ここでは、法律の条文から国の具体的な施策や出版界の取り組みが期待されるが、日本文藝家協会、日本推理作家協会、日本ペンクラブの三団体は４月、電子書籍の普及などの「読書バリアフリー」推進に協力するとの共同声明を発表した。視覚障害者をはじめ、読みたい本が読めない人たちの存在と主張が作家や出版関係者に改めて認識されたものであり、読書にバリアをもつ人にとって、また私たちにとっても追い風となるものであり、これを好機としてとらえたい。

　一方、読書バリアフリー法の目的を踏まえたとき、私たち情報提供施設には、図書（資料）や情報が、必要としている人々に、あるいはそれを求めている利用者に届けられているかどうかをソフトとハード面で検証し、必要な改善を図らねばならない。目差す情報バリアフリーの社会は、行政と企業と私たち利用に供する者が協力して作り出されるものであることを踏まえ、今大会では、その検証を行うと同時に、情報提供施設として担うべきこと、その内容を改めて確認し、情報バリアフリー社会に向けた歩みを前進させる機会にする。

　福岡は昔からさまざまな国と地域の人々が交わる場であり、多文化を受け入れられる器を備えた地と言われる。互いの実践を出し合い、それぞれの立場を尊重し、知恵を絞り、活発な議論が展開されて日々の業務に還元できる成果が福岡から生み出されることを期待したい。

主催 特定非営利活動法人全国視覚障害者情報提供施設協会（全視情協）

担当 全視情協九州ブロック

主管施設　　　福岡点字図書館

後援（予定）　厚生労働省、文部科学省、福岡県、福岡県教育委員会、福岡県社会福祉協議会、社会福祉法人日本視覚障害者団体連合、社会福祉法人日本盲人社会福祉施設協議会、全国盲学校長会、公益社団法人日本図書館協会、公益財団法人鉄道弘済会、特定非営利活動法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会

協賛（予定）　毎日新聞社点字毎日

期日　　　　　２０２４年１０月１０日（木）～１１日（金）

会場　　　　　クローバープラザ

春日市原町３－１－７（〒816-0804）

電話　092-584-1212

地図　http://www.cloverplaza.jp/traffic/access.html

参加費　　（１）全視情協会員およびサピエ施設・団体会員　一人　４,０００円

（２）その他（上記会員以外）　一人　６,０００円

参加申込み・問い合わせ

別紙「参加申込書」に記入の上、メール添付で８月３１日（土）までに大会事務局へ。

大会事務局　２０２４全視情協福岡大会事務局（福岡点字図書館）

福岡県春日市原町３－１－７　クローバープラザ内（〒816-0804）

電話　　092-584-3590

ＦＡＸ　092-584-1101

Eメール　tenji.cloverplaza@gmail.com

【プログラム】

１０月１０日（木）

12:30～13:30 開会式、式典

13:30～14:20 厚生労働省講演「障害者差別解消法～事業者による障害のある人への合理的配慮の提供義務化」（仮題）

14:40～17:40 第１分科会（点訳担当者対象）【点訳委員会担当】

「分かりやすく、読みやすい点字図書を届けるために

～講演と事例から学ぶ～」

第１部　講演：「触って分かりやすい触図・3D模型とは？

～てんじつきさわるえほんを中心に～」（予定）

講師：大内進氏（手と目でみる教材ライブラリー・星美学園日伊総合研究所客員研究員）

第２部　事例発表・ディスカッション

 第２分科会（音訳・録音、電子書籍担当者対象）【電子書籍委員会担当】

「マルチメディアデイジー製作講習」

※受講対象者：Producerを使用してテキストデイジーを製作したことがある方

 第３分科会（全職員対象）【理事会担当】

「読書バリアフリー　地域の取組み（福岡ほか）」（仮題）

18:45～ 懇親会

居酒屋　漁火－いさりび－　博多駅前店

（博多区博多駅東2-1-24 ギャラリー博多ビル4F）

１０月１１日（金）

9:15～12:15 全体会

「世代を超えて利用され、その満足度を高める図書館でありたい！

～未来の利用者の発掘とともに～」

12:15～13:00 昼食

13:00～16:00 第４分科会（音訳・録音担当者対象）【録音委員会担当】

「あなたならどうする？　こんな校正表

～丁寧なコミュニケーションで質の高い録音図書を！～」

第５分科会（全職員対象）【点訳委員会、理事会担当】

「点字プリンタの保守を究める！～未来へ繋げる 情報保障を担保するための機器・技術～」（仮題）、「AIスピーカーデモ」（予定）

16:15～16:45　宣言・決議

閉会

17:00～18:30　第６分科会（音訳・録音担当者対象）【録音委員会担当】

「シネマ・デイジー製作基準と書誌入力規則について」

・読書バリアフリー特別展示（１１日）